

学校の教育目標	児童の安全第一に「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を掲げる。「鹿本の子 しなやかに たくましく 考える子 やさしい子 たくましい子」
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を気付こうとする自主的、実践的な態度を育てる
目指す子供像	○ 自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる子 ○ 互いのよさを認め合うことができ、自由な意見交換ができる子
特別活動の重点目標	一人一人の児童が互いのよさを認め、伸ばし合うことができるような集団活動を行い、集団を育成しながら個々の児童に育てたい資質や能力を育成したりする。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事	
目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	
指導の方針	○ 楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重できる人間関係を築く。低学年では助け合い仲良くする人間関係、中学年では協力し合うこととする人間関係、高学年では互いに信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 ○ 自己のよさや可能性を生かして充実した学級や学校の生活づくりに参加できるように自発的な態度を育成する。	異年齢集団活動を通して上学年が思いやり下学年があこがれをもち、仲良く協力し信頼し支え合おうとする人間関係を形成する。集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだりすることについて、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成する。	クラブ活動においては、学年や学級の所属を離れ第4学年以上の同好の児童を持って組織するクラブにおいて、共通の興味・関心を追求する活動を行い、多様な他者との人間的なふれあいの中で認めあうことができるようにする。	学校行事においては、学校または学年を単位として学校生活に秩序と変化を与え集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。	
主な指導内容	(1) 学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 <話し合い、係・当番、集会> (2) 日常生活や学習への適応及び健康安全	学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1) 児童会の計画や運営 (代表委員会、各種委員会) (2) 異年齢集団による交流(こじか班)(児童集会) (3) 学校行事への協力 (代表委員会、各種委員会)	クラブ活動においては、学年や学級の所属を離れ第4学年以上の同好の児童を持って組織するクラブにおいて、共通の興味・関心を追求する活動を行う。	○ 儀式的行事：学校生活に変化や折り返しを付け、生活の展開への動機付けとなる活動を行う。 ○ 文化的行事：学習の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり文化や芸術に親しんだりする活動を行う。 ○ 健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進についての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、体力の向上などの活動を行う。 ○ 遠足・集団宿泊的行事：自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係など集団生活の在り方や公衆道徳などについて学ぶ活動を行う。 ○ 勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、社会奉仕の精神を養う体験が得られる活動を行う。	
配当時数	(1) 1年20、2～6年 25単位時間 (2) 1年14、2～6年 10単位時間	1～4学年2単位時間(集会) 5・6学年13単位時間 (集会2、各種委員会11)	単位時間 4～6年 14単位時間 3年 1単位時間(見学)	○ 儀式的行事：1年4単位時間 2年4単位時間 3年4単位時間 4年～6年12単位時間 ○ 文化的行事：1～4年5単位時間、5年5単位時間、6年5単位時間 ○ 健康安全・体育的行事：1年29単位時間、2.3年28単位時間、4年30単位時間、5年29単位時間、6年32単位時間 ○ 遠足・集団宿泊的行事：1～4年2単位時間、5.6年8単位時間 ○ 勤労生産・奉仕的行事：1～4年0単位時間、5年6単位時間、6年3単位時間	
他 の 教 育 活 動 と の 関 連	各教科	各教科で身に付けた能力などを、代表委員会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、委員会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○ 儀式的行事：学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○ 文化的行事：学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○ 健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成する。 ○ 遠足・集団宿泊的行事：学習を生かして、自然や文化等に親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳等についての望ましい体験を積む。 ○ 勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。	
	道徳	低学年では、自分の仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを、中学年では、互いに理解し助け合うこと、みんなで協力して楽しい学級をつくることを、高学年では、信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して責任を果たすことを重視する。	下学年は、自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をすること、上学年では、思いやりの心を持ち、親切にすること、身近な集団に参入して参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	「相手との関係を円滑にする」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、郷土や国を愛する心をもつことを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視。
	外国語活動	外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や動きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げることを、5、6年生は進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づき課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間での問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連、社会との関わりを考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視。
家庭や地域との連携	充実した学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を展開するために、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り指導をする。	代表委員会活動における充実した学校生活づくりの活動を展開するために、家庭や地域の協力を得たりする。また、学校行事に協力する代表委員会活動として、運動会を行う際に席を用意して地域の高齢者を招待することなどとして、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得ることを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域の伝統芸能や文化と関連付けたり、外部講師や地域の教育力を活用したりするなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の方が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施したりして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。	
備考					